

トムス H.I.D. フォグランプコンバージョンキット

35W 仕様 (※平成 17 年 12 月 31 日以前の製造車両のフォグランプに本製品を装着すると、保安基準の最高光度 (10,000 c d) を超えてしまう為、取付けできません。)

取 扱 説 明 書

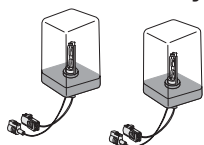
お取付け店様へのお願い：この「取扱説明書」は取付け後、必ずお客様へお渡し願います。

この度は、トムス H.I.D. フォグランプコンバージョンキットをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。
本製品は、自動車用純正フォグランプのハロゲンバルブを H.I.D. バルブに交換するためのシステムです。
安全に正しくご使用して頂くために、必ずご使用前に「取扱説明書」をよくお読みになり、内容を十分ご理解頂いた上でご使用ください。
また、お読みになった後は、ご使用頂く方がいつでも見られるところにご購入の際のレシート、領収書等と一緒に保管してください。

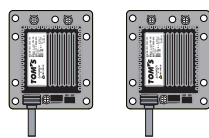
商品構成 (バラスト Assy、付属品) : バルブタイプ HB3/4orH8/9/11

※取付け前に部品が全て揃っていることをご確認ください。

①H.I.D. バルブ Assy ×2



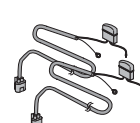
②バラスト Assy ×2



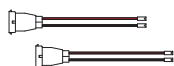
③ハーネス ×2



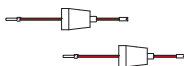
④バラスト電源ハーネス ×2



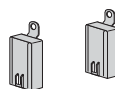
⑤H8/9/11 コントロール
ハーネス ×2
※H8/9/11 タイプのみ同梱



⑥HB3/4 コントロール
ハーネス ×2
※HB3/4 タイプのみ同梱



⑦リレー ×2



⑧スペーサー ×2
※HB3/4 タイプのみ同梱



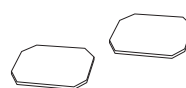
⑨インシュロック (小) ×10



⑨インシュロック (大) ×8



⑩両面テープ ×2



取付け上の注意事項

- 車両部品の取外し及び取付けは、車両の整備要領書に基づいて行なって下さい。
- 作業をはじめる前に以下の注意事項をよくお読み頂き、正しい取付けを行なって下さい。
- 注意事項を守らなかったために発生した不具合については責任を負いかねる場合がございます。
- 本製品には取付工賃は一切含まれておりません。また、クレーム時の作業工賃等の保証は一切致しかねますので予めご了承ください。
- 本製品はエンジン始動時にオートライトモード(オートライトスイッチON)になっていると、HIDが正常に点灯しない場合があります。
これはエンジン始動時の車両側の電力供給低下などの要因が関係します。不点灯になった場合、一旦、フォグランプスイッチをOFFにして再度、フォグランプスイッチをONにすると正常に点灯します。※エンジンを止める際にオートライトモードを解除しておく事をお勧めします。

⚠ 注意

- 取付け作業は火傷の恐れがありますので、エンジン及びフォグランプが冷えている状態の時に行って下さい。
- H.I.D. バルブ交換作業は、必ず平坦で十分なスペースのある場所で行って下さい。また、車両はエンジンを停止させ、サイドブレーキを掛け、ギアはニュートラルかパーキングにして行って下さい。
- H.I.D. バルブ交換作業時には、必ずフォグランプスイッチ OFF、更にバッテリーマイナス端子を外して下さい。
- ランプ点灯時及び消灯直後はランプが大変高温となっており、火傷の恐れがありますので、絶対に触れないでください。
- H.I.D. バルブは、落としたり、キズを付けたりしないで下さい。また、ガラス部に手で触れたり、汚れを付着させたりしないで下さい。
機能の低下や寿命時間の低下につながる場合があります。
万が一、触れてしまった場合はアルコールで汚れを取り除いて下さい。
- コネクターやターミナル端子の脱着は、リード線を引っ張らずに本体をもって確実に行ってください。リード線の断線や不確実な接続は、不点灯の原因となります。

HB3/4、H8/9/11 タイプバルブの取付手順（基本配線）

1. 装着準備

エンジンを停止させ、パーキングブレーキがかかっていることを確認後、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。

装着作業前に、バルブケースに入れた状態で、①H.I.D. バルブの点灯テストを P3「H.I.D. システム配線図」を参照し、仮配線を行ない点灯テストを実施して下さい。

点灯テストを行う際、使用する部品は、P3「H.I.D. システムハーネス配線図」の点線内の①H.I.D. バルブ、②バラスト Assy
④バラスト電源ハーネスを使い、バッテリーへ接続し確認を行なって下さい。

※注意

- 点灯時間は 10 秒程度で終了させて下さい。
 - システムの破損の原因となりますので、電源接続の際、プラス (+)、マイナス (-) を絶対に間違えないで下さい。
 - 装着前のテストを怠り、ケースの封印を開封した場合、及び装着作業中に発生した破損等はクレームの対象外となりますのでご了承下さい。
 - 破損や作動不良の原因になるので、インバータケースにバッテリーのプラス電位が触れないようにご注意下さい。
- 点灯テストで正常に点灯したらバッテリーのマイナス端子を外して下さい。
バッテリー端子を取外すと、時計やオーディオ等のメモリーがリセットする場合がございますので、事前にメモリー 内容を控えた上で作業を行なってください。

2. フォグランプの脱着

車両からフォグランプ Assy を取外してください。

※車種により脱着方法が異なります。脱着の手順などは車両要領書などをご参照下さい。

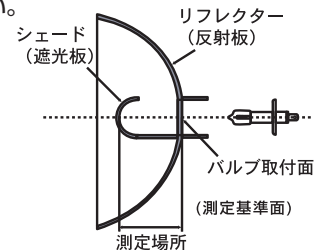
配線等を傷つけない様に十分に注意して取外してください。また、取外したビスやボルト等はなくさないように注意してください。

△「①バルブ Assy」装着の際、作業性が悪いとバルブ破損の原因となりますので必ず取外してください。

3. バルブ、シェードの干渉の確認

灯具内にシェードがある場合、下記寸法をご参照の上、ノギスなどの測定器具を使用しバルブが干渉しないか必ず確認を行なって下さい。下記の寸法を満たしていれば装着可能ですが、寸法に満たない場合は、装着作業を中止して下さい。

- △ バルブがシェードに干渉するとバルブの破損、バラストの故障の原因となります。
(干渉による破損は保証対象外となります。)
バルブ装着前に確認を行なって下さい。
灯具内のクリアランスが **58mm未満**の場合は本製品はお取付けができません。



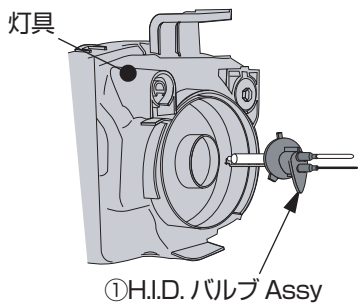
4. ①H.I.D. バルブ Assy の取付け

フォグランプから純正ハロゲンバルブを取外し、「①H.I.D. バルブ Assy」を灯具の爪に合わせて回転させ取付けます。

※車種により脱着方法が異なります。脱着の手順などは車両要領書などをご参照ください。

(HB3、9005J、9006J バルブへの装着の場合、ハロゲンバルブから純正 O リング外し、「①H.I.D. バルブ Assy」O リングと交換し、灯具によっては本製品付属の「⑧スペーサー」を使用して下さい。※HB バルブの灯具に装着する場合を参照)

△「①バルブ Assy」装着の際、作業性が悪いとバルブ破損の原因となりますので必ず取外してください。



※バルブは灯具に対して真っ直ぐに挿入して下さい。

【HB バルブの灯具へ装着する場合】

HB バルブは、HB4(6006)、HB4J(9006J)、及び HB3(9005)、HB3J(9005J) が使用されている灯具に対応可能な汎用タイプです。上記バルブのタイプ毎に装着方法が異なります。下記の手順をご参考の上、取付け作業を行なって下さい。

《HB4 に装着する場合》

- 装着されている O リングをそのまま使用する。
- ①H.I.D. バルブ Assy (HB タイプ)

《HB3・9005J・9006J に装着する場合》

- 純正 O リング 取り外す
- 取付ける
- ①H.I.D. バルブ Assy (HB タイプ)
- 純正 O リング スペーサー
- 【拡大図】

△【ご注意】

上記の作業をせずに装着作業を行なった場合、バルブ本体を破損させる可能性がありますので十分ご注意ください。また、これに起因する不具合については、クレームとしてお受けできませんので予めご了承ください。

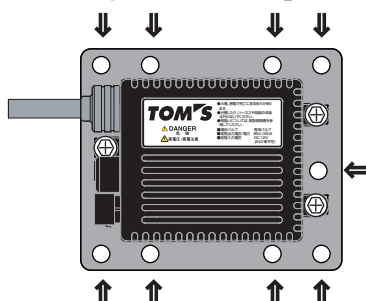
5. バラスト Assy の取付け

「②バラスト Assy」の裏側に本製品付属の「⑩両面テープ」を貼り付け、バルブ側配線がフォグランプユニットまで届く位置に固定してください。

「②バラスト Assy」は必ず脱落が無いように、本製品付属の「⑩両面テープ」「⑨インシュロック」や市販のボルト・ナットを使用し確実に固定して下さい。※ボルト・ナットは付属しておりません。

両面テープを貼り付ける際には、車体貼付け位置の脱脂を行なって下さい。

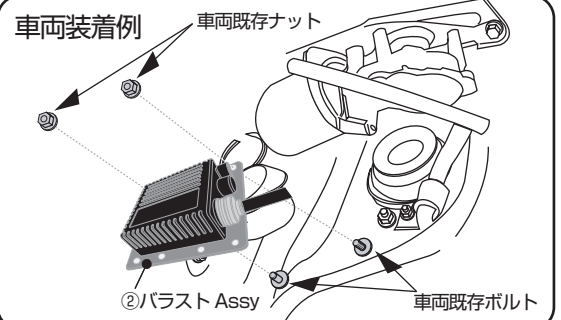
ボルトや「⑨インシュロック」取付け穴



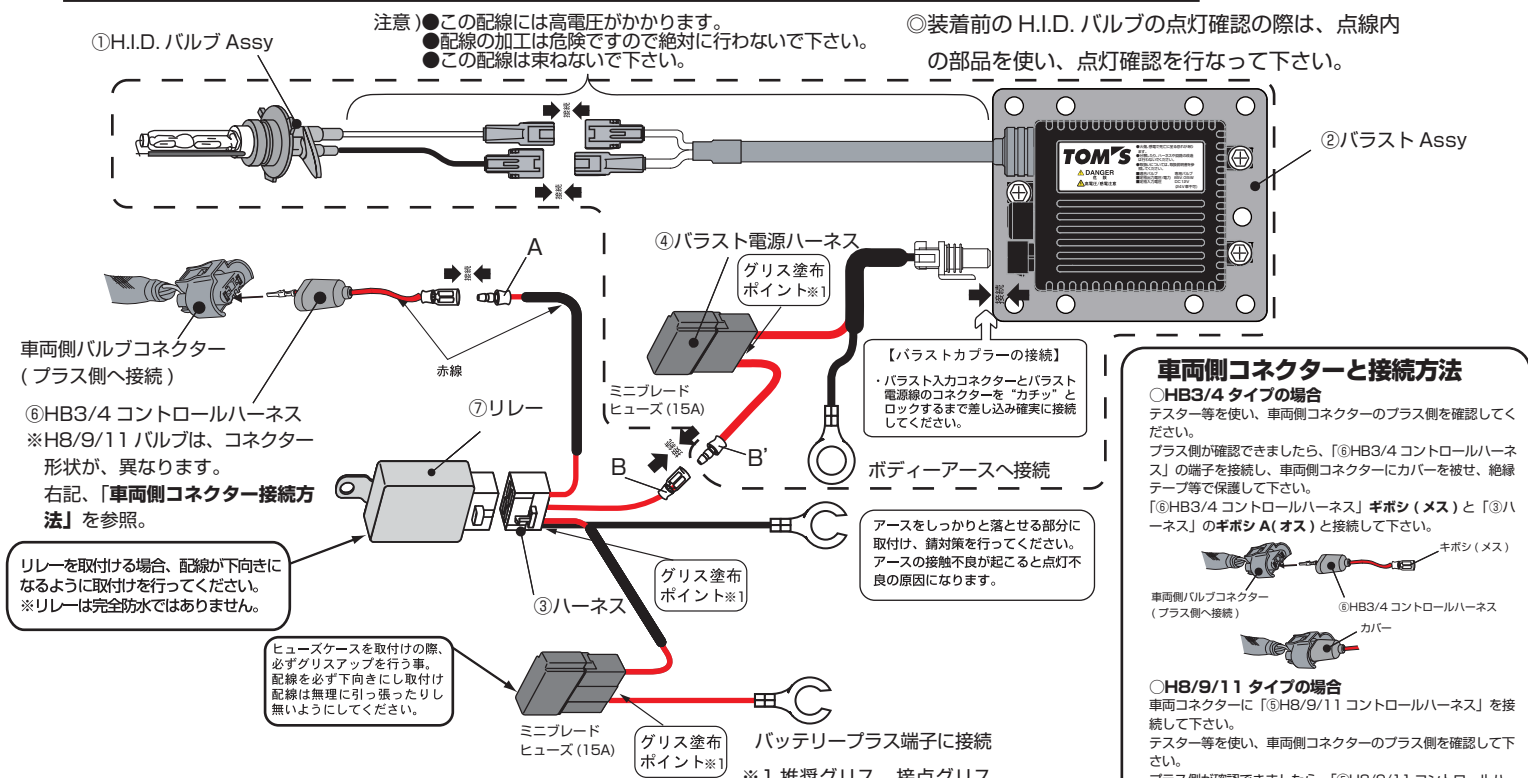
ボルトや「⑨インシュロック」取付け穴

＜ハイブリッド車両にお取付けの際の注意事項＞

ハイブリッド車両にお取付けの際には、必ず「②バラスト Assy」のステーを組込んだ状態で取付け下さい。
ステーを取外して装着するとユニット故障の原因となる可能性がありますので御座います。



H.I.D. システム配線図 (HB3/4、H8/9/11)



1. ③ハーネス取付け

- 1) 「③ハーネス」に「⑦リレー」を接続してください。
- 2) 「⑦リレー」本体は、水などのかかりにくい適切な場所へ確実に固定して下さい。
- 3) 「③ハーネス」から出ているギボシ B (メス) と「④バラスト電源ハーネス」ギボシ B' (オス) を接続して下さい。
- 4) 「③ハーネス」のギボシ A (オス) 赤線をコントロールハーネスのギボシ (メス) に接続して下さい。(※車両側コネクタと接続方法 参照。)
「③ハーネス」クワ型端子、「④バラスト電源ハーネス」丸型端子は、ボディアースへ接続して下さい。※車両により、ランプスイッチが OFF の状態でも電圧 (12V) が常時供給されている車両があります。その際は、クワ型端子 (黒線) を車両側バルブコネクタのマイナス端子へ市販の端子を使い、接続して下さい。
- 5) 「③ハーネス」のクワ型端子 (赤線) (ヒューズケースが付いている配線) をバッテリーのプラス端子へ接続して下さい。

2. 取付け後の確認

配線や取付けに間違いが無いかを確認して下さい。
車両ハーネスや H.I.D. システムのハーネスを無理に引っ張ったり、押ししたり、噛み込んでいないかを確認して下さい。
部品の締め付け忘れ等がないか、もう一度確認して下さい。

3. 復元作業及び作動確認

外した部品を元の位置に取付けます。
点灯テストの際には必ずエンジンを始動させてから、ランプが点灯するか確認して下さい。
他の車両電気部品が正常に作動するか確認して下さい。(ランプ類、オーディオ類など)

4. 光軸調整を行なって下さい

光軸調整は、車両整備要領書を参考に行なって下さい。

トラブルシューティング (故障かな?と思ったら・・・)

●バルブが点灯しない	・コネクタ類が確実に接続されているか確認する。 ・アースケーブルが確実に接続されているか確認する。 ・バッテリーが弱っていないか (9V 以上あるか) 確認する。 ・車両及びバラスト電源ハーネスのヒューズが切れていないか確認する。 ・片側だけ点灯しない場合は、点灯する側の「②バラスト Assy」を左右入れ替えてバルブが点灯するか確認する。
●配光がでない	・「①バルブ Assy」が正しい方向で取付けられているか確認する。 ・「①バルブ Assy」が確実に固定されているか確認する。
●点灯した時の色合いが異なる	・点灯直後から数分間は、黄色系や青色系などの本来の点灯色とは異なった色合いになる場合があります。これは H.I.D. システムの特性上発生する物で故障ではありません。 ・取付直後の点灯では、左右の色合いが異なる場合があります。これは H.I.D. システムの特性上発生するもので故障ではありません。 ・点灯時間を重ねるとバルブの点灯色は安定します。
●その他	・お取付け車両によっては、車両側の電気制御方法と H.I.D. システムキットとの関連で、車両ダッシュボード表示のモニター LED が常時点灯もしくは点灯しない場合がありますが、H.I.D. キットの故障ではありませんのでご了承ください。